

農薬不使用で安心の有機野菜 を生産するモアーク農園より



朝摘みの新鮮お野菜を農園からお客様へ直接お届け

ほんとうに良いものは自然に近いもの
農薬や人工添加物による“食の矛盾”を正したい。

このつくば市に拠点を置くモアークは、日本の「食の安全」に危機感を覚えた人々が集まる数少ない企業グループです。有機 JAS 認定を受けた野菜づくり、主に土にこだわった堆肥（伝統草農法）による一切の農薬を使用しない有機野菜の生産や、無添加の加工食品の生産を自社で一貫して行っています。また、それらによって得られた利益を有機農業の発展に寄与し、また、少しでも有機農業者が増えるような活動を行うことで人と自然に還元していく、「人と仲良く、自然と仲良く」をモットーに、社会貢献していくことを目的としています。



モアークグループ創立メンバー代表の西村さんと
有機野菜に熱い思いをかけるスタッフ

ダントツ人気 No.1
ミックスベビーリーフ



ルッコラなどのハーブ類やミズナ、ビート、レタス類など7～11種類の野菜を幼葉の段階で収穫しミックスしたリーフサラダです。一番の特徴は「栄養価が高くバランスが良い」ことで、専門の栄養士による調査研究や薬事効果についての調査を基に組み合わせを決めています。

micro

baby



ミックス
マイクロリーフ



マイクロ
スイスチャード
イエロー



マイクロ
ピノグリーン



マイクロ
スイスチャード



マイクロ
デトロイト/ビート



マイクロ
アマランサス



マイクロ
ルッコラ



マイクロ
赤カイワレ



ベビー
フダンソウ



ベビー
ルッコラ
セルヴァティカ



ベビー
ピノグリーン



ベビー
デトロイト



ケール



カーリーケール



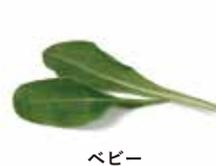
ローザビアンカナス



緑トロナス



ベビー
レッドコスレタス



ベビー
ハウレンソウ



ミニ黄色ニンジン



ブラウン マッシュルーム



新じゃがいも



黒大根



ベビー
赤リアス



ベビー
レッドオーク



新たまねぎ



ミニビーツ



ミニイエロービーツ



エディブルフラワー
マリーゴールド



エディブルフラワー
ポリジ



ほうれん草

昔ながらの伝統草農法

半年がかりで作りあげるモアークこだわりの土には、大自然の三つの恵みが隠されています。一つ目は自然循環を壊さない農法を行うために、草を主原料とする堆肥づくりです。自然な味わいを引き出すために目をつけたのは川原の草です。農場近くの小貝川には、イネ科やマメ科など生命力の強い野草が豊富に生えています。カルシウム豊かなスギナに、窒素が多く含まれるクローバーなどです。栄養分が豊富で、除草剤などを使用していない、安全な草を探し出し仕入れています。毎年初夏になると、河川事務所が洪水防止のため草刈をします。この草を毎年175トン譲り受け、農場で撒く一年分のたい肥の原料として使用しています。



こだわりの堆肥作り

二つ目は鶏糞です。鶏糞は作物の成長を助ける窒素を多く含み、草だけでは足りない養分を補う役割があります。仕入先は千葉県にある養鶏場です。こちらで育てているのは、今では数少なくなった国産の鶏です。そしてご主人が何よりこだわるのがその餌です。化学肥料や遺伝子組み換え技術を使っていない、大豆、とうもろこし、にんにくなど14種類もの安心・安全なものを配合しています。こだわりの餌で育てた健康的な鶏のふんで土を発酵させると、土の温度は80℃以上に上昇します。この過程で害虫などは死滅し、微生物が土を細かく分解し、柔らかいたい肥に変えていきます。こうすることで野菜に必要な栄養分だけが残ります。



自然の恵みで育てる

三つ目は最高品質の「にがり」です。昔ながらの製法にこだわる大分県にある製塩場では、満潮時のキレイな海水から天然の塩を作っています。この塩作りの過程で出るにがりや、刈り集めた草のたい肥に加え、草だけでは補えない自然のミネラルを補っていきます。そして無農薬のみみ殻、米ぬかなどを合わせていきます。

有機農業に 欠かせない雑草取り

雑草取りは有機農業で最も大切で大変な作業です。農薬を使わず、栄養分の豊かな畑では、放っておくと雑草が生え放題となってしまうため、日々の手入れは欠かせません。時には、一日12時間つづけて雑草を取り続ける日もあります。足腰に大きな負担となる雑草取りですが、これも自然に優しい草農法だからこその苦勞です。収穫作業においても、機械なら30分で済む作業ですが、約10倍の時間をかけ、手作業にこだわっています。

